

■ 1 グループ

<p>①使いやすい役場</p>	<p>執務スペースは、柱のないオープンなスペースとしており、職員の在席なども確認しやすいように、全体を見渡すことができる計画としています。 来庁者が迷うことなく、また、来庁者に素早く対応できるように総合案内（町民係）を入り口近くに配置します。 職員全員が来庁者に気付きやすい環境を作るため、複合機をカウンター側に配置することで、職員の主な動線をカウンター側に設けることとします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 見通しがよい職場（打ち合わせや働いている様子が見える職場） 	
<ul style="list-style-type: none"> 執務スペースに対し、役場のイメージをどう払しょくするかが大事である。 	
<p>（雰囲気が多少変わったとしても、役場の看板があれば入りづらいのは変わらない）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 中学生の社会科見学等で子ども目線の意見を取り入れる。 	
<p>②にぎわいゾーンの使い方</p>	<p>にぎわいゾーンは、テーブルやイスを移動させることで広いスペースを生み出すことができるため、イベントや様々な団体が積極的に利用できるように検討します。また、全てのスペースがにぎわうのではなく、学習や打ち合わせができるような、落ち着いた雰囲気になるミーティングスペースを計画しています。 屋上ひろばは、降雪時に吹き溜まりや雪庇ができることが風洞実験により実証され、安全性への不安、管理に係るコストの負担が大きいことから、規模を小さくし、眺望スペースを設けることで計画の変更を検討しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 札幌地下街で開催しているイベントを参考にしようか。 	
<ul style="list-style-type: none"> 団体グループ（小グループ、ボランティア団体等）が自由に使えるようにPRする。 	
<ul style="list-style-type: none"> 商業施設の来店ポイントのように、来庁者ポイントを付ける制度を取り入れる。 	
<ul style="list-style-type: none"> じゃがいもストリークの屋上部分をサロンにし、また、吹き抜け部分を利用して四 	
<p>面にテレビを設置してはどうか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 中学生が静かに自習できるスペースを設ける。 	
<ul style="list-style-type: none"> フリースペースは移動式（可動式）とする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ボルダリングのスペースを非常時も含めて自由に使える方がよい。 	
<p>③フェーズフリー</p>	<p>災害時であっても円滑に利用、運用ができるように、日常的にも利用できる備品や設備を計画します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 日常時をおろそかにして欲しくない。 	

■ 2 グループ

<p>①使いやすい役場</p>	<p>現在使用している机、椅子、キャビネットは老朽化により破損しているものも多いため、必要最低限の什器、備品は更新します。 相談しやすい環境を作るため、プライバシーに配慮が必要な相談は個室の相談室、簡単な相談、協議はハイカウンターやローカウンター、相手や内容によっては、にぎわいゾーンのスペースも積極的に利用します。 執務ゾーンとじゃがいもストリートの仕切りは、開庁時は、開放した状態とします。閉庁時は、保安上閉鎖しますが、すりガラスの使用などによって完全に遮断しない、圧迫感のない仕切りを検討しています。 じゃがいもストリートは、ファサードになるため視覚的に賑わいを感じられるように検討しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 什器を新しく更新した方がよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民からの相談業務や業者との打ち合わせなど、職員もにぎわいゾーンを積極的に 	
<p>利用した方がよいため、あらかじめ利用できる業務の適否を検討した方がよい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 執務ゾーンとの仕切りは、シャッターはイメージが悪い。また、曲線にすることは 	
<p>できないか検討する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時には女性用トイレとして利用できるため、男性用の小便器は不要ではないか。 	
<p>男性は屋外のマンホールトイレで対応する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ クライミングロックではなく、モニュメントを設置した方がよい。 	
<p>②にぎわいゾーンの使い方</p>	<p>にぎわいゾーンの運営方法、組織の在り方については現在、商工会が中心となり組織づくりの検討、協議を行っています。新たな組織が自走できる仕組みづくりと、持続可能な体制づくりのため、協力企業のほか、町も関与していく予定です。 限られた空間の中で、町民利用の多い機能を1階に集約することを最優先と考え、また、特別職と総務課は、スケジュール調整、来客対応などの日常業務や災害時においても密な連携が必要であるため、総務課のある2階に町長室と副町長室を設けています。 屋上ひろばは、降雪時に吹き溜まりや雪庇ができることが風洞実験により実証され、安全性への不安、管理に係るコストの負担が大きいことから、眺望スペースを設けることで計画の変更を検討しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ にぎわいゾーンの運営は商工会任せにはせず、サポート体制を整える必要がある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面に配慮して欲しい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長室、副町長室の位置は、町民が見える位置で、賑わいを感じ取れる場所がいい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントスペースは、原生花園の花をイメージさせるようなスペースがよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上ひろばは吹き溜まりができる恐れがあるため、管理が容易で長期間利用できる 	
<p>方がよい。</p>	